

(別紙2)

## 研究助成・事業助成・ボランティア活動助成 報告書の作成要領

1. 報告書は、A4用紙にて、ワード文書で作成下さい。(記載例を参照ください)
2. 本文の文字は、10.5ポイント(明朝体)  
余白は、上 30mm、左右 30mm、下 30mm (1 ページ 40 字×40 行を基本とする)
3. 研究・事業・ボランティア活動のテーマ、研究者所属氏名・共同研究者所属氏名を記入  
(課題名・所属・氏名は枠で囲む)

章立て      1. 2. 3. 4. ...  
                  (1) (2) (3) (4) ...  
                  1) 2) 3) 4) ...  
                  ① ② ③ ④ ...

4. 報告書の記載順
  - 1) 研究報告書は、緒言、目的、方法、結果、考察、結論、研究の成果、引用・参考文献、成果の公表(学会発表、論文投稿等)の順で作成。  
質問紙調査は、質問紙を添付。
  - 2) 事業報告書は、緒言、事業目的、事業方法、結果(事業の成果)、考察、結論、の順で作成。
  - 3) ボランティア報告は、はじめに(活動の背景と目的)、取り組みの内容(5W 1H)、結果、まとめの順で作成。

5. 報告書枚数  
研究報告                      20 枚まで(図・表・写真含む) 、調査票は枚数に含まない  
事業報告                      5 枚まで(図・表・写真含む)  
ボランティア活動報告      3 枚まで(図・表・写真含む)

6. 「研究助成・事業助成・ボランティア活動助成 報告書」の集録について
  - 1) A4サイズ、白黒で作成いたします。
  - 2) 原則として提出された報告書は、データをそのまま使用させていただきますので、写真および図表もカラーではなく白黒で作成して下さい。
  - 3) 頁数は入れず、A4、片面印刷で製本しないで提出して下さい。

※提出して頂いた報告書は集録としてお届けいたします。

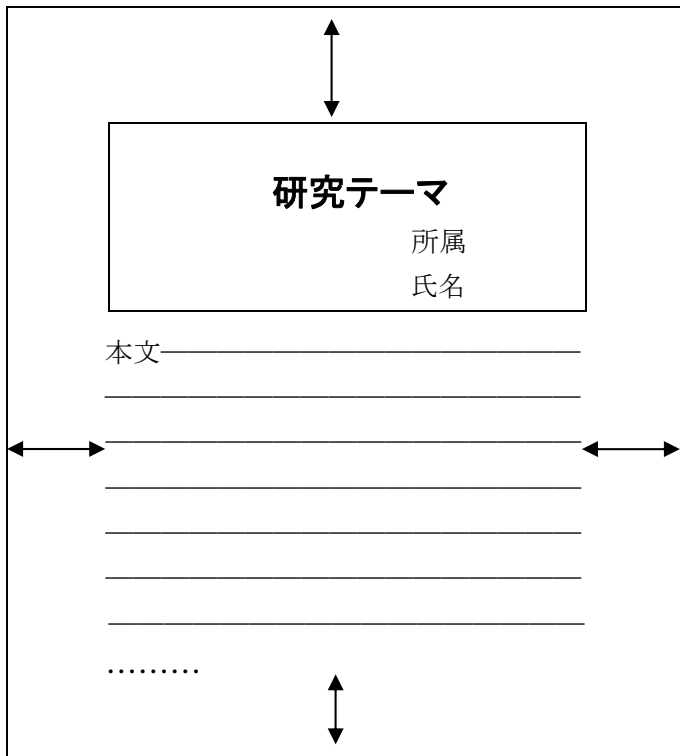
7. 提出方法  
報告書は、データをCDまたはUSB等に保存し、作成したソフト名(バージョン名)をご記入の上、プリントアウトした報告書 1部と一緒に財団宛にご提出下さい。

8. 提出締め切り 平成 29年 5月 31日(水)

9. 記載例

**記載例**

(例)



・上部余白 30 mm

・テーマ・所属・氏名は  
枠で囲む

・左右余白 30 mm

・下部余白 30 mm

研究テーマ・  
所属・氏名の  
文字は不要

一人暮らし高齢者における機能訓練事業の  
身体・心理社会的効果の検討 (MS ゴシック 14P)

(研究者所属氏名)

〇〇〇病院 (MS 明朝 10.5P)

氏名〇〇

(共同研究者所属氏名)

〇〇県立看護大学看護学部

氏名〇〇、氏名〇〇、氏名〇〇

(章立てポイント：以下参照)

1. 緒言 (はじめに) (MS ゴシック 12P)

(背景・意義) . . . . . 日常生活の自立を助けることを目的<sup>1,2)</sup>とした。

本文：MS 明朝 10.5P

2. 目的

. . . . .

3. 研究方法

(1) 対象 (MS 明朝 12P)

4. 結果

{